新しい「福島県総合計画」
【概要版】

平成２１年１１月
福島県総合計画審議会

【目次】

はじめに　1
第１章 ふくしまの特性と時代潮流　2
第２章 ふくしまのめざす将来の姿　3
第３章 ふくしまの基本方向　5
第４章 政策分野別の重点施策　6
第５章 地域別の重点施策　１１
第６章 計画の推進のために　１２

はじめに

1　計画策定の趣旨

人口減少、超高齢社会の本格的な到来など、長期的な時代潮流を踏まえつつ、急激な社会情勢の変化にも柔軟に対応して施策展開を図ることにより、豊かなふくしまをつくっていくために、新しい総合計画を策定することとしました。

2　計画期間

30 年程度先を展望しながら、平成 22(2010)年度を初年度とし、平成 26 年(2014)年度を目標年度とする５か年計画です。

3　計画の特徴

① ふくしま全体の指針となる計画
② 長期的な視点での県づくり、柔軟な施策展開が可能となる計画
③ 分かりやすい計画（部門別計画との役割分担、優先的に行う施策の明確化、地域別施策の明示）
④ 実効性を重視した計画（指標を活用した進行管理、戦略的取組みの推進）

4　計画の構成

めざす将来の姿　　ふくしま全体で共有

第１章 ふくしまの特性と時代潮流	○ 将来の姿を描く際の基礎を共有します。 ・本県のあゆみ、特性、時代潮流、人口・経済の展望、時代認識
第２章 ふくしまのめざす将来の姿	○ ふくしまの目標と将来の姿を共有します。 ・基本目標と基本姿勢 ・めざす将来の姿

基本方向　　ふくしま全体で共有

第３章 ふくしまの基本方向	○ 将来の姿の実現に向けた方向性を共有します。 ・政策分野別の基本方向 ・地域別の基本方向

重点的に実施する取組み　　県の役割の下に５年間で推進

第４章 政策分野別の重点施策	○ 主な指標により５年後の姿を示します。 ○ 県の役割のもとに、政策分野ごとに重点的に推進する施策と施策の達成度を測る指標を示します。
第５章 地域別の重点施策	○ 各地域において、重点的に推進する施策を示します。

計画の推進のために

第６章 計画の推進のために	○ 推進の考え方、県民運動の展開、実効性の確保、重点プログラムなどを示します。

第１章 ふくしまの特性と時代潮流

本章では、まず、「ふくしまのあゆみ」として、本県の歴史を踏まえた後、「ふくしまの特性」を整理します。次に、時代潮流を長期的に展望し、そこから今後重要になる視点を「時代認識」として整理します。

本章のふくしまの特性（魅力）と時代認識を踏まえて、次の章で「基本目標」や「めざす将来の姿」を示します。

ふくしまのあゆみ

〇多様な文化、多極分散型の県土となった歴史的背景

〇多くの先人の努力により、今の姿へ

ふくしまの特性（魅力）

〇豊かな地域資源　〇多様性

〇つながり　〇ゆとり

時代潮流

〇人口減少・超高齢社会の本格的な到来

〇経済のグローバル化の進展

〇食料・資源・エネルギー問題の顕在化

〇地球温暖化を始めとする環境問題の深刻化

〇高度情報化社会の進展

〇ライフスタイル・価値観の多様化

〇安全と安心に対する関心の高まり

〇分権型社会への移行

ふくしまの人口と経済の展望〔試算〕

〇人口の見通し

《総人口》

H26　197 万人程度

H47　161 万人程度

〇経済の見通し

《県内総生産（名目）》

H26　7.8～8.0 兆円程度

H47　8.6～9.0 兆円程度

ふくしまの魅力を再認識し、伸ばすことが、長期的な観点から重要

全体を通し、見出せる視点

時代認識（今後重要となる視点）

・多様性の尊重

・つながり・支え合いの重要性

・次世代への責務の高まり

・心の豊かさ、自己実現に対する意識の高まり

・安全・安心に対する関心の高まり

・独自性や付加価値の高い産業の重要性

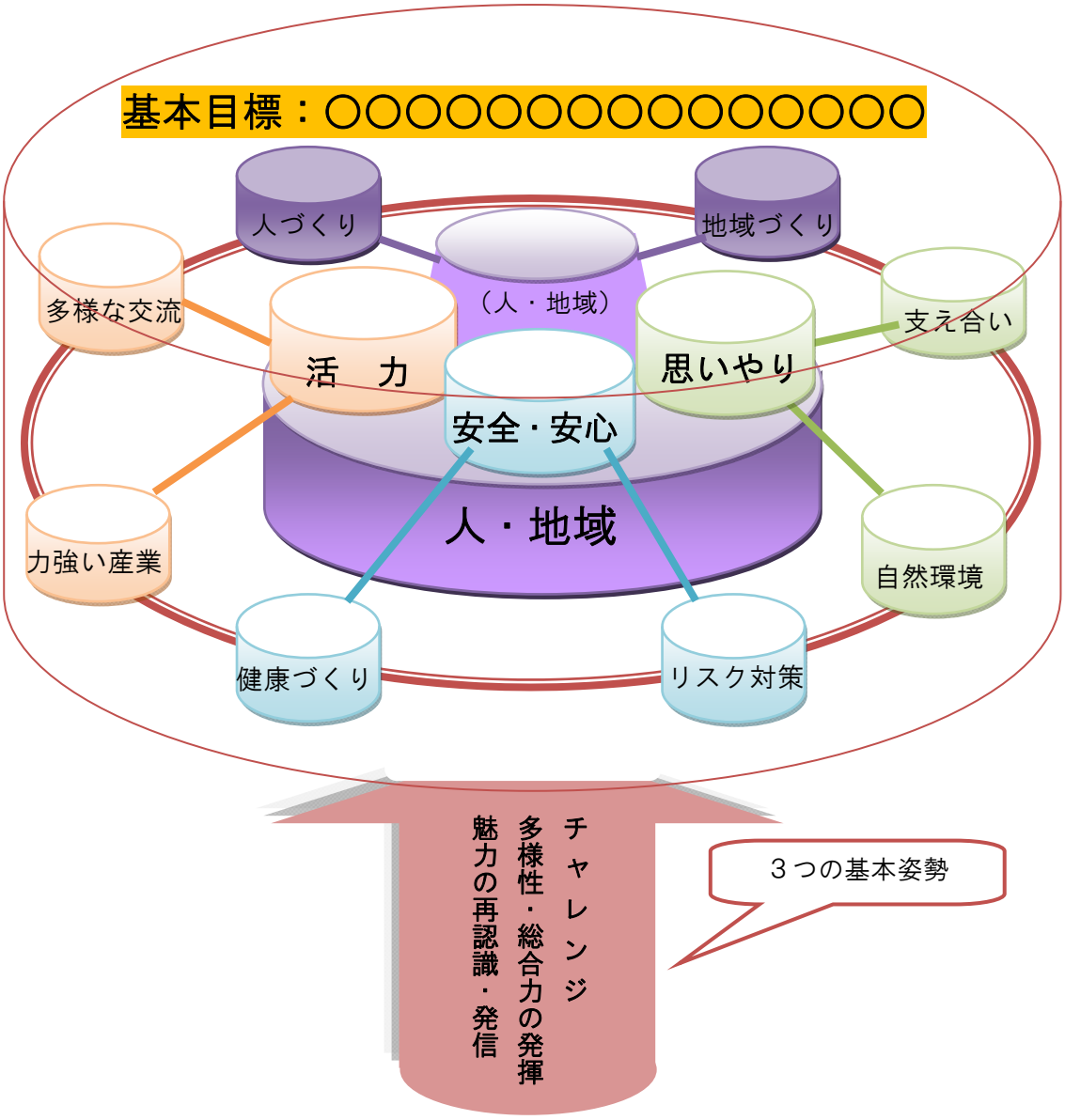
・環境や自然と共生する産業の重要性

次章

めざす将来の姿へ

第２章　ふくしまのめざす将来の姿

本章では、前章のふくしまの特性（魅力）、時代潮流や時代認識を踏まえて、「基本目標」、「基本姿勢」、「めざす将来の姿」を示します。



めざす将来の姿

県づくりの根幹であり基本となる「**人と地域**が輝く『ふくしま』」を「**ふくしまの礎（いしずえ）**」として位置づけ、「**ふくしまを支える３本の柱**」として「いきいきとして**活力**に満ちた『ふくしま』」「**安全と安心**に支えられた『ふくしま』」「人にも自然にも**思いやり**にあふれた『ふくしま』」を置いて、３０年程度先を展望し実現を目指す「めざす将来の姿」を描きます。

【 ふ く し ま の 礎 】

人と地域が輝く「ふくしま」

将来のふくしまでは、子どもたちが心豊かにたくましく育つとともに、県民一人ひとりが持つ能力や可能性を開花させるためのさまざまな「場」が用意され、誰もが、地域や人と人とのつながりによる安心感の中で生きがいを持って活動しています。

また、地域団体、ＮＰＯ、企業など多様な主体と連携しながら、地域住民による主体的な地域づくりが行われ、分権型社会に対応できるようになっているとともに、過疎・中山間地域などを含めて、それぞれの地域の特色が十分に発揮されることによって、県全体がいきいきとした輝きを放っています。

ふくしまを支える３本の柱

いきいきとして活力に満ちた「ふくしま」

将来のふくしまでは、県内外さらには海外との多様な交流ネットワークや東北圏と首都圏の結節点に位置する地理的な優位性などに支えられながら、世代や性別を超えて人々が知恵と力を出し合い、安全で多彩な食材を生み出す農林水産業や力強い製造業を始めとした本県に存在する多様な産業、資源そして知恵が結びつくことによって、付加価値の高い産業が躍動するとともに、県内外や海外との交流の拡大によって、人やモノの多様なつながりが生まれています。

安全と安心に支えられた「ふくしま」

将来のふくしまでは、本県が有する温かい地域のきずなや世代を超えたつながりに支えられながら、保健・医療・福祉サービスが充実し、生涯を通じて健康でいきいきと過ごすことができ、生活のあらゆる場面において、必要な備えと情報共有がなされ、安全と安心に支えられた快適な暮らしができるようになっています。

人にも自然にも思いやりにあふれた「ふくしま」

将来のふくしまでは、県民一人ひとりが周りや県内外の人々、さらには次の世代への「思いやり」を大切にし、本県に息づいている地域社会のきずなを基礎としながら、お互いに支え合い、責任を持って行動することで、一人ひとりが大切にされる社会となるとともに、自然環境が次の世代に美しい姿で引き継がれています。

第３章 ふくしまの基本方向

本章では、前章の基本目標等を踏まえ、めざす将来の姿の実現に向けて、さまざまな主体が力を合わせて、取り組んでいく方向性について、課題を明らかにしながら、「政策分野別の基本方向」として示します。

また、生活圏を単位とした地域別の方向性についても「地域別の基本方向」として示します。

政策分野別の基本方向

ふくしまの礎

「人と地域が輝く『ふくしま』」の実現のために

【人と地域-1】子どもから大人まで一人ひとりの輝きと生きがいが見いだせる社会の実現

【人と地域-2】魅力と個性にあふれた地域社会の実現

ふくしまを支える３本の柱

「いきいきとして活力に満ちた『ふくしま』」の実現のために	「安全と安心に支えられた『ふくしま』」の実現のために	「人にも自然にも思いやりにあふれた『ふくしま』」の実現のために
【活力-１】 地域に根ざした力強い産業の育成 【活力-２】 多様な交流ネットワークの形成	【安全・安心-１】 誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり 【安全・安心-２】 さまざまなリスクに対して安全で安心な社会の実現	【思いやり-１】 支え合いの心が息づく社会の形成 【思いやり-２】 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現

第４章
政策分野別の重点施策へ

地域別の基本方向

- 地域づくりに当たっての考え方
- 個性ある七つの生活圏に基づいた地域づくり
- 生活圏を越えた機能の補完・連携
- 県内外を含む隣接・近接地域間の広域連携

第５章
地域別の重点施策へ

第４章 政策分野別の重点施策

本章においては、本計画の目標年次における本県の姿を示すとともに、その実現に向け、第３章の各政策分野の基本方向に基づき、さまざまな主体と連携しつつ、県がその役割の下に重点的に取り組む事項を「政策分野別の重点施策」として示します。

重点施策の推進によってめざす５年後の姿

ふくしまの礎「人と地域」の面では・・・

	具体的には…
○安心して子どもを生み育てることができる社会づくりが進展、子どもたちが確かな学力、思いやりの心などを身につけ健やかに成長	合計特殊出生率 小中学生の学力
○能力を発揮できる環境づくりが進み、一人ひとりが新たにチャレンジ、子どもから大人まで多くの人々が文化活動やスポーツ活動に参加	男女共同参画計画策定市町村数 県民のスポーツ実施率
○住民による主体的な地域づくりが進展、市町村が地方自治の担い手として、その力がより向上	NPO 等と県の協働数 市町村への権限移譲数
○過疎・中山間地域や電源立地地域で地域資源を生かした産業が発展	過疎地域等の観光客入込数

ふくしまを支える３本の柱の「活力」「安全・安心」「思いやり」の面では・・・

	具体的には…
○環境・新エネルギー産業など成長産業が集積、地場産業も発展 ○農林水産業の生産力が向上、農商工連携、地産地消、販路拡大も進展 ○地理的な重要性、温かな地域性が発揮され、にぎわいづくりが進展	製造品等出荷額 農業関連産出額 観光客入込数・外国人宿泊者数
○県民一丸となった生涯を通じた健康づくりや、医師の確保と医療機関等の連携など医療提供体制の整備が進展 ○交通事故や犯罪の件数が減少するなど身の回りの安全と安心が向上、防災体制の整備が進み、災害に弱い立場の人でもより安心な地域に	がん検診受診率 医療機関に従事する医師数 交通事故死者数・犯罪発生件数 災害時要援護者の支援計画数
○人にやさしいまちづくり、支え合いの心が息づく社会づくりが進展 ○猪苗代湖の水質が改善するなど、本県の自然環境がより美しくなり、低炭素社会に向けた取組みが進み、温室効果ガスの排出量が減少	やさしさマーク交付施設数 猪苗代湖の水質汚濁度 適切に整備された森林の面積

政策分野別の重点施策

「ふくしまの礎」「ふくしまを支える３本の柱」に基づく８つの政策分野ごとの重点施策を展開

－重点施策の体系－

（８つの政策分野）→重点施策〔２２〕→重点施策の細項目〔６３〕→具体的な取組み〔２５２〕

「ふくしまの礎」の重点施策

【人と地域1】子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現　など３施策

【人と地域2】力強さに満ちた地域づくりと分権型社会への対応　など３施策

「ふくしまを支える３本の柱」の重点施策

【活　力　1】力強い産業の多彩な展開　など３施策

【活　力　2】多様な地域との交流・連携と定住・二地域居住の推進　など３施策

【安全・安心1】生涯を通じた健康づくりの展開　など３施策

【安全・安心2】身の回りの安全と安心の確保　など３施策

【思いやり1】多様な人々がともに生きる社会の形成 など２施策

【思いやり2】美しい自然環境の継承　など２施策

重点施策の体系と代表指標

ふくしまの礎
人と地域が輝く「ふくしま」

1　子どもから大人まで一人ひとりの輝きと生きがいが見いだせる社会の実現

（1）子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現

①子どもを生み育てやすい環境づくり	□合計特殊出生率	1.52 （H20）	上昇をめざす （H26）
②豊かなこころ、健やかな体の育成 ③確かな学力の育成とキャリア教育の推進	□全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との比較割合（全国平均=100）	小学校99.1 中学校 100.6 （H21年度）	小学校102.0以上 中学校102.0以上 （H26年度）

（2）人々がはつらつとして活躍する社会の実現

①さまざまな知恵の活用や新たな就業・起業へのチャレンジに対する支援	□大学発ベンチャー企業数	28社 （H20年度）	40社以上 （H26年度）
②男女共同参画社会の形成 ③高齢者の生きがいづくり	□市町村における男女共同参画計画の策定率	38.3% （H20年度）	70%以上 （H26年度）

（3）文化やスポーツなどによる活動の場づくり

①文化・スポーツの振興による活動の場づくり	□成人の週2回以上の運動実施率	33.2% （H21年度）	38%以上 （H26年度）
②県民の意欲に応える生涯学習の環境づくり	□福島県芸術祭参加行事数	73 （H20年度）	80以上 （H26年度）

2　魅力と個性にあふれた地域社会の実現

（1）力強さに満ちた地域づくりと分権型社会への対応

①都市と農山漁村との連携による魅力あるまちづくり	□NPO法人認証件数	487法人[累計] （H20年度）	650法人以上[累計] （H26年度）
②地域住民や地域団体、NPO、企業などによる地域活動の支援	□NPOやボランティアと県との協働事業数	96事業[累計] （H20年度）	125事業以上[累計] （H26年度）
③住民に身近な市町村を中心とした地域づくりの支援	□市町村への移譲権限数	1,407件[累計] （H20年度）	1,600件以上[累計] （H26年度）

（2）地域住民と多様な主体でともに支える過疎・中山間地域

①過疎・中山間地域の活力を支える地域力の育成	□過疎・中山間地域における観光客入込数	22,010千人 （H20年）	23,111千人以上 （H26年）
②地域特性を生かした働く場と収入の確保 ③安全に安心して暮らせる生活環境づくり	□「地域づくり計画」策定件数	26件[累計] （H20年度）	70件以上[累計] （H26年度）

（3）個性的で活力に満ちた電源立地地域

①電気のふるさとの特色ある地域づくりの推進 ②地域の特性を生かした産業の集積	□電源立地地域における広域交流拠点施設利用者数	8,864千人 （H20年）	9,307千人以上 （H26年）

ふくしまを支える３本の柱

【柱Ⅰ：活力】 いきいきとして活力に満ちた「ふくしま」

1　地域に根ざした力強い産業の育成

（1）力強い産業の多彩な展開

①産業クラスターの形成など層の厚い産業の集積 ②県内企業の技術革新、知的財産活用による競争力・収益力の強化 ③商業、IT産業・観光産業などサービス産業の強化 ④ものづくり産業と商業・サービス産業などとの連携強化による県内産業の総合力の向上	□製造品出荷額等	59,766億円 （(H20年）	63,500億円以上 （H26年）
	□工場立地件数	75件 （H20年）	400件以上 （H22～26累計）

（2）農林水産業の持つ底力の発揮

①生産者と消費者のきずなの構築 ②生産力と経営力の強化による食料自給率と所得の向上 ③農商工連携、6次産業化などによる農林水産業の総合力の強化	□農林水産業の産出額 ・農業関連算出額 ・林業算出額 ・沿岸漁業算出額	 2,500億円(H19年) 141億円(H19年) 109億円(H20年)	 2,700億円以上(H26年) 165億円以上(H26年) 120億円以上(H26年)
	□耕作放棄地の解消面積	41ha （H20年度）	2,000ha以上 （H22～26年度累計）
	□農商工連携体を把握した件数	0件 （H20年度）	75件以上[累計] （H26年度）

（3）産業を支える多彩な人々の活躍

①多様な就業機会の提供、県内への就職誘導 ②産業を支える人々の能力開発・育成 ③女性や高齢者などの就業環境の整備、就業機会の増加	□有効求人倍率	0.68 （H20年度）	全国平均値程度以上 （H26年度）
	□技能検定合格者数	2,199人 （H20年度）	2,400人以上 （H26年度）

2　多様な交流ネットワークの形成

（1）多様な地域との交流・連携と定住・二地域居住の推進

①県内における交流の促進 ②定住・二地域居住の推進 ③広域的な交流・連携の推進	□ふくしまファンクラブ会員数	2,325人 （H20年度）	6,000人以上 （H26年度）

（2）魅力あふれるふくしまの観光と国際交流の推進

①国内観光の推進 ②国際観光の推進 ③文化や経済などを通じた国際交流の推進	□観光客入込数	55,331千人 （H20年）	58,000千人以上 （H26年）
	□県内の外国人宿泊者数	122,620人 （H20年）	130,000人以上 （H26年）

（3）交流と連携強化のための基盤づくりと活用

①七つの生活圏、市町村間を結ぶ交通ネットワークの確保 ②多様な情報の受信・発信力の強化 ③空港や港湾を活用した広域的な交流と物流の推進	□7つの生活圏の中心都市間の平均所要時間	92分 （H20年度）	86分 （H26年度）
	□小名浜港・相馬港の貨物取扱量	24,717千トン （H20年）	26,000千トン以上 （H26年）

【柱Ⅱ：安全・安心】 安全と安心に支えられた「ふくしま」

1 誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

（1）生涯を通じた健康づくりの展開

①生活習慣病対策など健康づくりの推進 ②高齢者の介護予防 ③感染症の予防対策	□がん検診受診率 ・胃がん ・子宮がん ・肺がん ・乳がん ・大腸がん	20.1% 24.6% 33.9% 21.1% 23.4% （H20年）	50%以上 50%以上 50%以上 50%以上 50%以上 （H24年）

（2）安心できる地域医療提供体制の充実

①周産期、小児、救急医療の充実など地域医療の確保 ②命と健康を守る医療人の育成、医療の質の向上	□医療施設従事医師数（人口10万人対）	176.1人（H18年）	200人以上（H24年）

（3）高齢者や障がい者に対する多様な福祉サービスの充実

①高齢者を対象とした福祉サービスの充実	□特別養護老人ホームの定員数	8,532人（H20年度）	9,571人（H23年度）
②地域生活への移行や就労支援など障がい者の自立支援	□就業している障がい者数	5,935人（H20年度）	6,800人以上（H26年度）

2 さまざまなリスクに対して安全で安心な社会の実現

（1）身の回りの安全と安心の確保

①各種犯罪の防止・被害者支援、交通安全の確保、児童虐待などの防止	□交通事故死亡者数	113人（H20年）	90人以下（H26年）
②生産から消費に至る一貫した食品の安全確保、県内農林水産物の安全性向上	□犯罪発生件数（刑法犯認知件数）	19,582件（H20年）	19,000件以下（H26年）
③消費生活などにおける安心の確保	□不良食品発生件数	61件（H20年度）	29件以下（H26年度）

（2）災害など不測の事態に対する備えの充実

①地域における大機規模地震などの災害に備えた防災体制の充実、広域連携による迅速な救助・復興体制の構築	□自主防災組織率	80%（H20年度）	84%以上（H26年度）
②大規模災害、新型インフルエンザなどさまざまなリスクへの対応 ③原子力発電所及び周辺地域や化学工場など事業所における安全確保対策	□災害時要援護者避難支援個別計画の策定市町村数	2市町村（H20年度）	全市町村（H26年度）

（3）安全で安心な生活を支える社会基盤の提供

①自然災害に備えた公共施設などの整備 ②道路、河川など社会基盤の適切な整備と維持管理による安心の確保	□橋梁耐震補強整備率（緊急輸送路における耐震補強）	84%（H20年度）	100%以上（H26年度）

【柱Ⅲ：思いやり】 人にも自然にも思いやりにあふれた「ふくしま」

1 支え合いの心が息づく社会の形成

（1）多様な人々がともに生きる社会の形成

①人権擁護、多文化共生などの推進	□やさしさマーク交付数	380件[累計] （H20年度）	500件以上[累計] （H26年度）
②ユニバーサルデザインの推進	□おもいやり駐車場協力施設数	－	1,200件以上[累計] （H26年度）

（2）思いやりと支え合いの心に満ちた社会の実現

①離職時における生活再建支援の充実	□離職者等再就職訓練修了者の就職率	60.8% （H20年度）	63%以上 （H26年度）
②自殺防止のための総合対策	□自殺者数	535人 （H20年）	470人以下 （H26年）
③一人暮らしの高齢者など地域で孤立しがちな人々に対する支援ネットワークの確立			
④援助を必要とする子どもや家庭への支援			

2 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現

（1）美しい自然環境の継承

①自然環境の保護と適正な利用	□猪苗代湖におけるCOD値	0.7（mg/l） （H20年度）	0.5（mg/l）以下 （H26年度）
②猪苗代湖を始めとする豊かな水環境などの保全	□汚水処理人口普及率	71.2% （H20年度）	80%以上 （H26年度）
③良好な景観の形成			

（2）環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会への転換

①産業、行政、学校、家庭における省資源・省エネルギーの取組みの推進	□温室効果ガス排出量（H2年度比）	123.5% （H18年度）	92%以下 （H22年度）
②太陽光など再生可能エネルギーの開発・導入支援、関連産業の育成	□クリーンエネルギー自動車の普及台数	9,247台 （H20年度）	20,000台以上 （H26年度）
③森林環境の保全と森林資源の積極的な活用	□森林整備面積	11,641ha （H20年度）	61,000ha （H22～H26年度累計）
④廃棄物等の発生抑制、再使用、再生利用などの促進			

新しい総合計画で設定する指標数

代表指標４３、その他の指標を含めて１４９

※上記とは別に意識調査項目として２２項目設定

第５章 地域別の重点施策

本章においては、第３章「ふくしまの基本方向」を受け、七つの生活圏、それぞれの観点から各地域で重点的に推進する施策として、「地域別の重点施策」を示します。

会津地域

○地域づくりに貢献する新たな観光の推進
○地域特性を生かしたさまざまな交流の促進
○地域企業の強みを生かし、社会環境の変化にも対応した産業の振興
○自然環境、景観、文化の保全・継承と活用

南会津地域

○地域特性を生かした経済の活性化
○集落機能の維持に対する支援等
○地域資源を活用した交流人口の拡大
○地域の自然環境や歴史的景観の継承
○生活基盤の維持・整備による安全で安心な暮らしの確保

県北地域

○個性が輝く地域活力の創出
○持続可能な農林業の確立
○地域の特色を生かした多彩な産業の振興
○安全で安心な生活を支える基盤の整備

県中地域

○未来を拓き、地域の活力を支える産業の集積と高度化
○「福島空港」と地域資源を活用した交流人口の拡大
○「地域の宝」を生かした過疎・中山間地域の振興
○豊かな自然環境と調和のとれた地域社会の形成
○安全で安心に暮らせる地域社会の形成

県南地域

○地域の特性を生かした活力ある産業の振興
○地域の持続可能な発展を担い、自らの手で地域を牽引できる人づくり
○広域的連携による地域内外との交流の促進
○自然にあふれ人々がいきいきと心豊かに暮らせる源流の里づくり

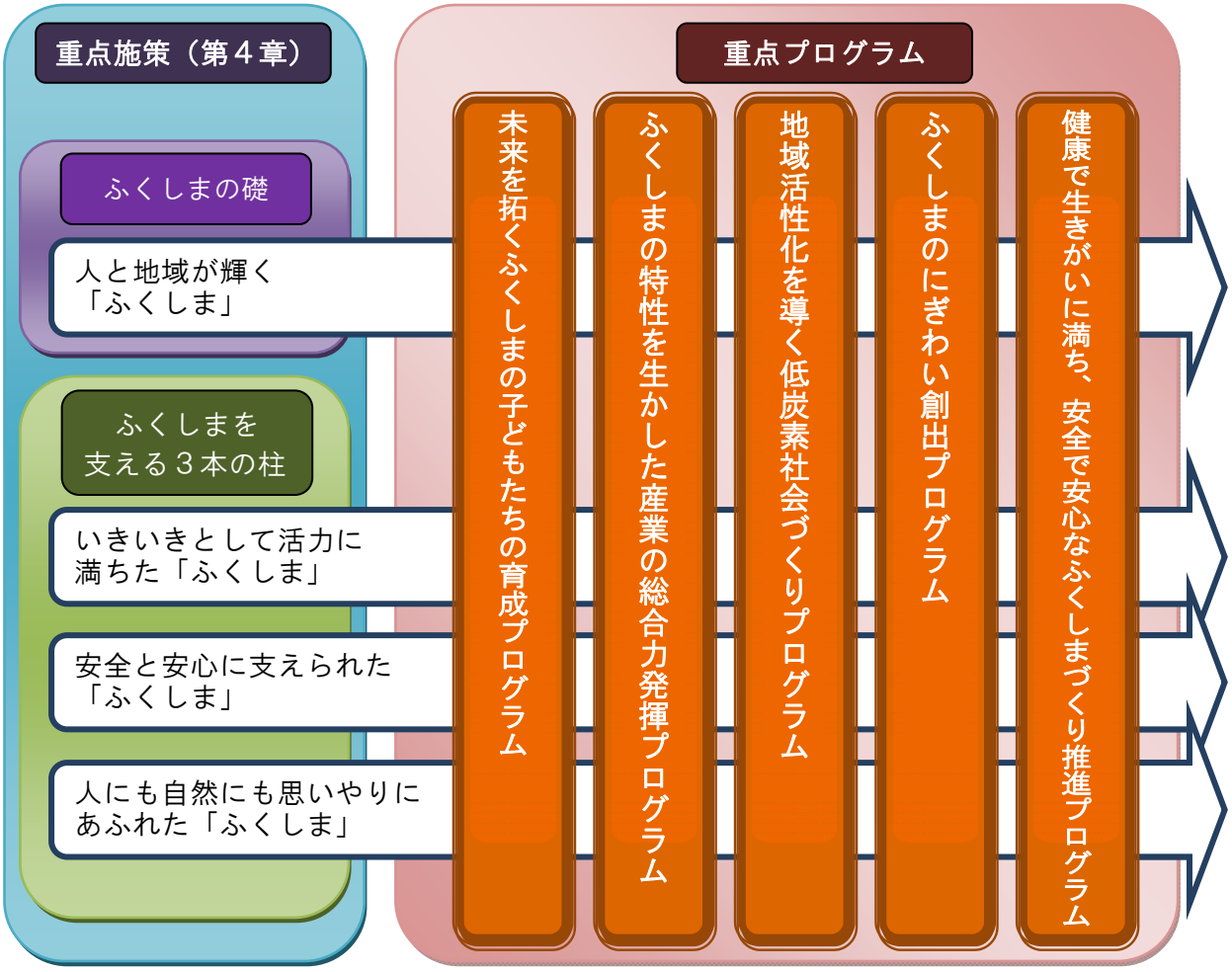
相双地域

○多彩な地域資源の連携による広域交流圏の形成と人づくり
○電源立地地域の特性や物流基盤の整備効果を生かした産業の集積
○地域特性を生かした農林水産業等の振興と地域活性化
○安全で安心なくらしや交流を支える基盤の整備・充実

いわき地域

○多様な地域資源を生かした交流の促進
○創造的で活力のある産業の展開
○豊かな自然環境と調和した多彩で魅力ある生活圏の形成
○人と人とがつながる安全で安心な環境づくり

第６章 計画の推進のために

本章では、「めざす将来の姿」の実現のために、県民、民間団体、企業、市町村、県など、ふくしまで活動する多様な主体の役割や、県の姿勢を明確にするとともに、第４章の政策分野別の重点施策、第５章の地域別の重点施策を実施するに当たっての計画の実効性を確保するための取組みについて示します。

計画推進に当たっての考え方	・県民に期待する役割 ・市町村に期待する役割 ・県の役割と姿勢
県民運動の展開	・県民運動の展開による計画の効果的な実現
実効性の確保	・計画の進行管理 ・柔軟かつ機敏な対応 ・全庁一体となった施策の推進 ・戦略的な取組みの推進
重点プログラム	・５つの重点プログラム